

# あどけない話

高村 光太郎

智恵子は東京に空が無いといふ、  
ほんとの空が見たいといふ。  
私は驚いて空を見る。  
桜若葉の間に在るのは、  
切つても切れない  
むかしなじみのきれいな空だ。  
どんよりけむる地平のぼかしは  
うすもも色の朝のしめりだ。  
智恵子は遠くを見ながら言ふ。  
阿多多羅山の山の上に  
毎日出てゐる青い空が

智恵子のほんとの空だといふ。  
あどけない空の話である。

〈出典 『智恵子抄』(新潮社、二〇〇三年)〉

【著者】高村 光太郎(たかむら こうたろう)

一八八三(明治一六)年—一九五六年(昭和三二)年  
彫刻家、評論家、詩人。東京都の生まれ。

【著書】『智恵子抄』『道程』『典型』など